

平成26年度 新発田・北蒲外国語活動部 活動報告

部長 姫路 ゆかり

1 研究主題

状況設定の工夫を通してコミュニケーション能力の素地を養う

2 研究の概要

今年度は、実際の授業場面で指導する際、活用できる技能を習得することを目的とし、上記のような研究主題を設定した。Hi, friends!の教科書のダイアログを子どもたちが興味をもって学べる状況設定について研修を深めた。

3 研究の実際

- 5月 外国語活動部研究計画の検討
- 6月 講演・実技研修〈講師 燕市立松長小学校教諭 落合 義貴 様〉
- 11月 授業研究会 〈指導者 荒橋小学校教諭 松原 郁子 様
〈授業者 御免町小学校 小坂井 淑子 教諭〉

6月 落合義貴先生による講演・実技研修について

「状況設定の工夫を活かした模擬授業」について講演・実技研修を行った。授業の初めに、英語を学習する意義を子どもに教える必要性や、日常的な場面の状況設定で、フラッシュカードやパペットを用いて楽しく学習する方法を紹介していただいた。実際に、フラッシュカードやパペットの使い方を演習することで、技能の習得を図ることができた。他にも、Hi, friends!1, 2の指導場面で活用できる具体的なアクティビティをたくさん教えていただいた。実際の授業場面で活用が期待できる研修会となった。



11月 小坂井教諭による授業研究について

Hi, friends!2 『Turn right』道案内をしよう』の研究授業を行った。ウォーミングアップからチャンツやカラーボールゲームで、和やかな雰囲気での授業が始まった。タクシードライブゲームによる状況設定の工夫を取り入れ、ペアで道案内を行った。既習の英語や新出のダイアログも使いながら、進んでコミュニケーションをする姿が見られた。



指導者の松原郁子先生からは、情報ギャップが子どもの意欲付けにつながることや、最新の外国語活動の情報について御指導をいただいた。

4 成果と課題

状況設定の工夫により、楽しく外国語を使ってコミュニケーションをする姿を研修することができた。今後も教師自身のスキルアップを図っていきたい。

